

コードが聴こえる耳作り

耳を開く 聴きとり術 コード編

～コードや機能を感じる子供達が増えつづけるノウハウ～



写真・満田 聡

き はら りょう こ
樹原涼子

熊本市生まれ。武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノ教本のベスト&ロングセラー「ピアノランド」の著者。作曲、執筆のかたわら、セミナー、コンサート、公開レッスンを開催、独自のカリキュラムでマスターコース、樹原涼子のコード塾、勉強会を開講、音楽大学での特別講義などを通じて、ピアノ教育界に新しい提案と実践を続けている。
2016年出版の『ピアノランド スケール・モード・アルペジオ』はモードやコードをマスターしてアドリブまで世界を広げると、ピアニストの愛用者も多い。
公式ウェブサイトは「樹原涼子」で検索、
f tマークから公式 Facebook ページ、ツイッターアカウントへ。



ピアノ歴が長く、毎日多くの和音を弾いていたはずの方でも、「コードや機能を感じて弾くことが難しい」と仰るのはなぜでしょう？

それは、コードを意味のある塊として捉える習慣がないままピアノを弾いていたからかもしれません。つまり“指が鍵盤を正しく押さえることを第一の目的として音符を音に変換してきた”のではないのでしょうか。

私は、作曲家が書いた音楽のストーリーを理解するには、コードと機能の理解が必要と考えます。音を発する前に、そこにどんなコードや機能が生み出されて音楽の流れを作っていくか、脳内再生する、という習慣をつけることが大切です。

それらを意識して学び、意識して教えることで耳を開く“聴きとり術”を始めてみませんか？

●子供の頃から、コードが聴こえる耳作りを始めましょう！

幼児が母国語を覚えるように和音の魅力に触れ、響きと名前を同時に覚えていくと、瞬間にコードが識別できて違いがわかる耳が育ちます。短期間にカデンツ(ドミナントモーション)の種類を聴きわけることもできるようになります。これまでになかった手法で開発された『耳を開く 聴きとり術 コード編』を取り入れ、毎レッスンの数分間で脳のシナプスを刺激、ピアノレッスンに必要不可欠なコードが聴こえる耳作りをスタートしましょう！

●大人でも耳を開いていけば、コードが聴こえる耳になります！

コードを習って来なかった先生方も、“聴きとり術”を指導しながらコードをマスターしていくことができます。近年開催しているコード塾、“聴きとり術”勉強会で学んだ先生方はそれ以前と異なる耳を得て、表現力豊かな生徒を育て、作曲する子供達もどんどん増えています。

◆発売以来、大きな成果を上げつづけている『耳を開く 聴きとり術 コード編』の指導法◆

- 1 Cを根音とした12種類のコードを、密集形でも転回形でも聴き分けられるようにする指導法
- 2 どんなコードも一目瞭然、“コードのお団子図”で、聴く力を補完する
- 3 お辞儀をしたくなるカデンツ(ドミナントモーション)12種類を耳で覚える
- 4 “聴きとり術”を成功させる、考え方、指導のコツ、習慣にする方法

●日時

●会場

●受講料

●テキスト 「耳を開く 聴きとり術 コード編」

<参考テキスト>「ピアノランド スケール・モード・アルペジオ」
(以上、音楽之友社)

* 当日会場でも販売いたします。

●お問合わせ・お申込み先

キリトリ線

行 FAX.

申込日 月 日

樹原涼子 公開講座

年 月 日 ()

耳を開く 聴きとり術
コード編

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種別	会員 ・ 一般		